2017年8月1日　アクセス　（1976年11月10日第三種郵便物認可）　第487号

地方小出版 情報誌 アクセス

毎月1回　1日発行
購読料　定価150円
（本体139円）
年間1,500円（税込み）
振替　00120-0-19017

発行所　㈱地方・小出版流通センター　〒162-0836　東京都新宿区南町20
編集　アクセス編集委員会　TEL.03-3260-0355　FAX.03-3235-6182

NetGalley

発売前のゲラをプロフェッショナルな読者に届けるサービス

ネットギャリー ▽▼▽

NetGalleyのご紹介

文 / 出版デジタル機構　原田秀次郎

【サービス概要図】

NetGalley日本版オープン

NetGalley(ネットギャリー)はアメリカで2008年に生まれたWebを使った紙書籍の販促サービスです。Galley（ギャリー）というのは英語で「ゲラ」という意味で、簡単に表現するならば「ネットでゲラを配布する」サービスという意味になります。

北米では300を超える出版社が、NetGalleyを通して電子化されたゲラのデータを広く配信し、販促に役立てています。デジタルやWebを利用する仕組みですが、あくまで紙の販促に役立つサービスとして北米では認知されています。北米での成功を受け、2015年にフランス版、2016年にはドイツ版がスタートし、2017年6月にようやく日本版がオープンしました。出版デジタル機構はその日本版の代理店を務めています。

ゲラをデジタルで配信

NetGalleyは非常にオープンなWebサイトです。パソコンやスマートフォンでwww.netgalley.jpと検索すれば、どなたでもアクセスできます。出版社はNetGalley上にそれぞれの紹介ページを作成することができ、そこに発売前のゲラや、発売後のイチオシ作品のデータを掲載することで、棚を作っていくことができます。それらの作品に対して、書店員さんや図書館員さんなどの会員が「ゲラを読みたい」というリクエストを出すことで、出版社とプロフェッショナルな読者が繋がっていく仕組みとなっています。

ゲラをデジタルで配信することのメリットはいくつかありますが、まずひとつは出版社のコスト削減です。現在も活発にゲラやプルーフ本、献本を送っている出版社であれば、その紙代や制作費、梱包・発送のコストを削減することができます。

また、いわゆるカリスマ書店員と言われる方々、特に多くの出版社からゲラ読みの依頼が集中している方であれば、机の上や鞄の中の「ゲラまみれ」という状況を解消することができるようになります。

さらに一方で、地方の書店員さんや、図書館員さんで、ゲラなんてものには全く縁がない、という方々もNetGalleyを通してご自身の興味・関心を出版社に届けることが可能になります。NetGalleyを利用することで、出版社はコスト削減と販促機会の拡大を、会員は自らの興味に適合した刊行前の書籍について、精度の高い積極的な情報収集を行えるようになります。

会員登録、利用は無料

NetGalleyは出版社から安価な費用を頂戴して運営する予定です。また、会員登録はサイトトップの「会員になりましょう！」から誰でも気軽に無料で行えます。まずはぜひ新刊作品の情報収集も兼ねて、いろいろな方にご参加頂きたく思います。

さて、無料登録が可能なWebサイトということで、一見するとゲラのタダ読みサービスのようにも思えますが、そこは出版社とプロフェッショナルな読者を繋ぐための様々な仕掛けが施されています。

まず、会員は登録に当たって、書店関係者、図書館関係者、教育関係者、メディア、レビュアーの5つの会員タイプから1つを選ぶ必要があります。書店員であれば仕入や販促のために、図書館員であれば蔵書や選定図書の参考に、教育関係者であれば採用品や教材として、メディアは自身のWeb媒体や書評の題材探し、レビュアーはブログや読書SNSでのレビュー投稿のため、これらの影響力を持ったプロフェッショナルな読者であることが会員には求められます。

また出版社としてもゲラを無制限に配布することは難しいため、「この人にこそ読んでもらいたい」という方からのリクエストに限定して承認を行っていくことになります。会員タイプや会員の自己紹介などを参考に、出版社の作品と影響力のある会員とのマッチ

ングを促していく仕組みです。

フィードバック、レビューの共有

デジタルでゲラを配布するだけではなく、NetGalleyのもう1つの重要な機能にフィードバックやレビューの投稿機能があります。会員は読んだ作品に対して、星の数や、レビュー、また出版社向けのメッセージを投稿することができます。発売前の作品に対して、書店員、図書館員、レビュアーなど様々な会員タイプのプロフェッショナルな読者がレビューを投稿することで、作品の発売・販促を応援してみんなで盛り上げることができます。

また、出版社はレビューやメッセージを通して会員とコミュニケーションを図ることで、自社の作品をサポートしてくれる「本の応援団」を作っていくことができます。NetGalleyは、出版社と会員がゲラを通して繋がっていく新たなコミュニケーションツールという側面も持っています。

出版社の利用料金

6月の立ち上げ時にはKADOKAWA、幻冬舎、講談社、光文社、集英社、小学館、ディスカヴァー・トゥエンティワンの7社に参加頂きました。実はまだベータテスト版という位置づけで、8社目以降の出版社をご招待できるのは9月頃からになる見通しです。

肝心のアカウント利用料金ですが、同時に掲載できる作品数によって変動する月額制となっております。最小アカウントは当面の間、「税抜き月額5万円で同時掲載5点まで」でのご案内を予定しております。これは、例えば新刊5点でも結構ですし、新刊2点と既刊3点でも結構です。また2週間ごとに作品を入れ替えてもよいですし、1作品を3ヶ月間掲載し続けても結構です。5点の枠内であれば自由にご利用頂けます。

地方小出版アカウント

一方で、多くの出版社様からは、NetGalleyには興味があるが月に5点の月額アカウントを持つのは難しい、というお話も伺っております。現在こちらにつきましては、地方・小出版流通センター様と「地方小出版取次アカウント」の開設に関して検討を行っております。地方・小出版流通センター様とお取引のある出版社様であれば、1点いくらという形でスポット利用を頂けるアカウントです。このようなご利用に関心のある出版社様は是非ご連絡を頂けましたらと存じます。

出版デジタル機構と紙の出版

さて最後に、出版デジタル機構が何故このNetGalleyサービスを行うのか、という点につきまして改めてご説明させてください。

元々弊社は2012年に日本における電子書籍市場の拡大を意図して設立されました。電子書籍の市場はここ数年活発に成長しており、弊社の2016年度の売上高は200億円を超える規模となっております。ですが、その内訳の8割はコミックであり、その他2割の文字物作品もライトノベルや文芸・ビジネス書などです。やはりどうしても、電子書籍には縁遠い読者や、電子書籍には向かないジャンルや作品はあるようです。

しかしながら、電子書籍とは言わないまでも、今の世の中にはWebやクラウド、SNSなど、活用すべきデジタルの技術が無数に存在しています。出版デジタル機構はここ数年、そういったデジタルの力をもっと紙の出版にも活かしていけないだろうかと、研究を進めており、実際にいくつかのサービスをスタート致しました。

たとえば、品切れや復刻作品の流通をサポートするプリント・オン・デマンドや、コンテンツの制作・校正を支援するPicassol（ピカソル）といったサービスですが、NetGalleyも紙の販促にデジタルとWebの力を活かしていくための仕組みです。

このように出版デジタル機構ではデジタルの力を活用して出版業界を支援する取り組みを進めております。私自身、元は紙の取次トーハンに在籍していた身ですが、NetGalleyはこれまでにない形で紙とデジタルが融合して助け合っていける仕組みではないかと期待をしています。是非多くの方にご利用頂ければと思います。

＊

NetGalleyおよび弊社のサービスに関してのお問い合わせはお気軽にコチラまで：

TEL 03-6837-1540

メール：hidejiro.harada@pubridge.jp

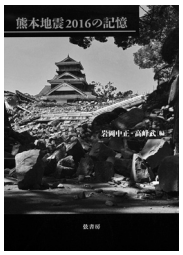
▽

（はらだ　ひでじろう／出版デジタル機構 新規事業推進部）

新刊ダイジェスト

※価格は税込（消費税率8%）表示です。

『熊本地震２０１６の記憶』●岩岡中正著



編者は言う。熊本地震とは何だったのか。地震の衝撃から復興へ、その間、私たちはどんな気持ちで何を思い考え、どう行動し、これをどう記録し表現してきたのか。私たちは、未来へ向けてこの体験と思いを書き残しておかなければならないと考えて、本書を編んだ。

Ⅰ部（想う）は、地震の中心地・益城町や南阿蘇村、また熊本市の現地から、さまざまな人が語る。なお渡辺京二氏も原稿を寄せている。Ⅱ部（詠む）では、俳句という形で、半年にわたる地震を移ろいゆく季節の中で表現する。Ⅲ部（書く）は、4月から10月までをメモした熊本市の古書店主による生々しい震災日記を紹介する。日々の現実を知ることができ圧巻だ。Ⅳ部（繋ぐ）では、古文書を読み解いて歴史を辿る。とくに永青文庫細川家資料は有用だ。Ⅴ部は資料で、各種データ、被害概要そして経過を年表とし、熊本地震の全体像を示した。

こうして9名の執筆者によって、いろいろな角度から熊本地震に光が当てられた。

◆1944円・A5判・167頁・**弦書房**・福岡・2017/3刊・ISBN9784863291492

『秋田・ダム湖に消えた村』●佐藤晃之輔編著

ダムには治水（洪水の調節）、利水（上水、工業用水、農業用水の供給）、発電（電力の供給）の3つの目的があり、現在およそ3000のダムが全国各地で稼働している。一方、ダム建設は、その多くにおいて集落の移転・水没を伴っている。ダム湖畔に建つ離村記念碑を見かけたとき、「ここにどんな集落があったのだろうか」と思われる方は多いのではないだろうか。

本書では、秋田県内9つの集落移転を伴うダムの現況を紹介し、移転・水没した33集落の往時の写真を多数取り上げている。集落移転があった時期は、昭和20年代（森吉ダム）から平成初期（森吉山ダム）までと幅広く、写真にはその時代の匂いが色濃く反映されている。編著者は、秋田県内の消えた村（廃村）にくまなく足を運び、消えた村に係わる書籍を5冊出版している。

時代が進むにつれ「集落があったことを後世に伝える」、これら書籍の意義は高まっていくことだろう。

◆1620円・Ａ５判・123頁・**秋田文化出版**・秋田・2017/6刊・ISBN9784870225770

『ほら　なにもかも　おちてくる』●ジーン・ジオン著／マーガレット・ブロイ・グレアム絵／まさきるりこ訳

風に舞って楽しげに花びんから花びらがテーブルの上に音もなく落ちて来る。公園では噴水の水が落ちて来て、水の中では魚が泳ぎ、小鳥たちが水浴びをして遊んでいる。りんごが木から落ち、海では子どもたちが作った砂の城が崩れて水の中に落ちる。秋には木の葉がはらはらと、冬には雪が落ちて来る。

雨は小川や湖を満たし、苗を育て花を咲かせてくれる。夜のとばりが下りて、星が降ると、おやすみの時間。朝になるとお父さんがベッドからジミーを抱き上げ、空中にぽーんと放り上げるが……。

本書はロングセラーの絵本「どろんこハリー」の名コンビのデビュー作で、アメリカで出版された絵本の中ですぐれたものに贈られるコールデコット・オナー賞の 1952 年度受賞作。“おちる”をキーワードに四季の移ろいや自然の豊かさといった不変のテーマを表現している。子どもや動物も生き生きと描かれ、ずっと読み継がれてほしい絵本である。

◆ 1404 円・Ａ４判・30 頁・**瑞雲舎**・東京・2017/4 刊・ISBN9784907613167

『満洲文化物語　－ユートピアを目指した日本人』●喜多由浩著

満州と聞けば、悲惨な戦争や植民地支配が連想されるが、昭和７年に関東軍主導で満州国が建国される以前、日本人により豊穣な文化・芸術が花開き、トップレベルの教育が施され、近代的な都市生活が営まれていたことは余り語られることがない。タブー視されてきたといってもいいのかもしれない。日露戦争後の 1900 年代前半、満州に渡った日本人が、この地に築こうとした夢､ユートピアとは何であったのか。井上ひさしが描いた連鎖商連街、ミフネを育てた写真館、山田耕筰のいた音楽の都哈爾濱、都市計画により上下水道が完備した暮らし、祖国のために命を賭けた若者たちとその中心にいた石原莞爾、技術の粋を集めた特急あじあ号、満州計画の中核を担った満鉄、満鉄勤務の東海林太郎は論文が左翼的とされ田舎町の図書館長に左遷される。

興味深いエピソード満載である。そこには満鉄初代総裁後藤新平のポリシー「文装的武備」が流れていると知り納得させられた。

◆ 1512 円･四六判･270 頁･**中国書店（集広舎）**・福岡・2017/4 刊・ISBN9784904213483

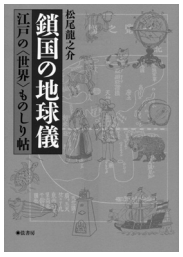
『戦争青春記』●秋葉　洋著

戦前・戦中の青春時代、陸軍幼年学校・士官学校を経て中尉へと職業軍人の道を歩んだ著者（故人）の痛切で率直な体験記。特に、著者が身をもって体験した敗戦時の「帝国陸軍部隊の自滅崩壊」のなまなましい告白記録は珍しく、この国の侵略戦争や軍国主義支配の実態と愚劣な本質を存分に暴き出している。「……平和の下で生まれ育った若い方々に、つい半世紀程前の日本が天皇を神として崇め、自国を神の国と称して他民族支配の口実を創り、国民を侵略戦争の桎梏の下に縛りつけていたという事実を再認識して頂けるだけで充分満足です。そして若し出来るならば、軍国主義支配を許し、アジアの国々に塗炭の苦しみを強いた過去の経験から、象徴になった筈の天皇を国主に復活させようとする最近の危険な傾向を阻止するためには今どうすれば良いかを考えて戴ければ、もっと満足出来るでしょう」（本書「読んで下さる方々へ」より）

１文字１文字刻み付けるように書き遺した、著者の静かな怒りを含む切実な遺稿集。

◆ 1944 円・四六判・294 頁・**一葉社**・東京・2017/5 刊・ISBN9784871960632

『鎖国の地球儀　ー江戸の〈世界〉ものしり帖』●松尾龍之介著



江戸時代の安永五(1708)年、京都で一冊の書物が出版されました。その名は『増補華夷通商考』。著者は西川如見。長崎に住む学問好きな町人でした。この書物は世界各地の風土や特産品などをまとめたものです。当時は鎖国により、限られた窓口しか外国には開いていませんでしたが、この書物には多くの海外の情報が収められています。まさに日本初の海外地理書といえるでしょう。本書はそんな『増補華夷通商考』を現代文に訳して詳しく紹介してくれます。もちろん時代の制約もあり荒唐無稽な話も多く、遠方の地については不正確な情報も多くなっていきます。それでも如見のアジア・中東・ヨーロッパのみならず南米やオーストラリアまでも記述する視野の広さ、そして知識を得ようとする意欲には舌を巻きます。地球上のあらゆる土地の情報が得られるインターナショナルな長崎の雰囲気や、当時の日本人も決して海外について無知だったわけではないことがよく伝わってきます。

◆2484円・A5判・283頁・**弦書房**・福岡・2017/6刊・ISBN9784863291539

地方小出版流通センター　ジャンル別新刊案内

2017年6月1日～30日
流通センター着

※各ジャンル内での出版社名は所在地の北から南の順に並んでいます。

価格は税込（消費税率8%）表示です。

【雑誌】

◆**faura**　56　大橋　弘一編　A4　80頁　1028円　ナチュラリー［北海道］978-4-503-21152-1　17/06

◆**あおもり草子**　No.244　佐藤　史隆編　A4　48頁　600円　企画集団ぷりずむ［青森］978-4-503-21144-6　17/06

◆**北方風土**　第74号　北方風土社編　A5　195頁　2160円　イズミヤ出版［秋田］978-4-503-21158-3　17/06

◆**SPRIDE**　vol.13　渡辺　直明編　A4　103頁　730円　下野新聞社［栃木］978-4-88286-655-8　17/07

◆**GREEN REPORT**　450　廣瀬　仁編　A4　192頁　2800円　地域環境ネット［埼玉］978-4-905457-82-4　17/06

◆**ほほづゑ**　第93号　長谷川　智恵子編　A5　127頁　600円　三好企画［千葉］978-4-908287-15-2　17/07

◆**子どもと読書**　424号　広瀬　恒子編　A5　40頁　550円　親子読書地域文庫全国連絡会［神奈川］978-4-907376-24-6　17/06

◆**かまくら春秋**　No.565　伊藤　玄二郎編　B6　89頁　320円　かまくら春秋社［神奈川］978-4-7740-0715-1　17/05

◆**AXIS**　Vol.188　石橋　勝利編　A4　128頁　1800円　アクシス［東京］978-4-503-21163-7　17/08

◆**口承文芸研究**　第40号　日本口承文芸学会編　A5　258頁　2376円　岩田書院［東京］978-4-503-21153-8　17/03

◆**地方史研究**　第387号　地方史研究協議会編　A5　126頁　1234円　岩田書院［東京］978-4-87294-987-2　17/06

◆**徳島地域文化研究**　第15号　高橋　晋一編　A4　156頁　1944円　岩田書院［東京］978-4-503-21155-2　17/03

◆**比較都市史研究**　第36巻　第1号　比較都市史研究会編　B5　63頁　3240円　岩田書院［東京］978-4-503-21164-4　17/06

◆**洋学史学会研究年報**　洋学24（2016）「洋学」編集委員会編　A5　156頁　4320円　岩田書院［東京］978-4-946540-24-0　17/05

◆**仏事**　No.201　奥村　昇編　A4　104頁　1620円　鎌倉新書［東京］978-4-503-21142-2　17/06

◆**たまら・び**　No.96　小崎　奈央子編　A4　79頁　767円　けやき出版［東京］978-4-87751-573-7　17/07

◆**月刊住職**　No.223　矢澤　澄道編　A5　203頁　1404円　興山舎［東京］978-4-908027-38-3　17/06

◆**子どもの文化**　No.554　片岡　輝編　A5　47頁　313円　子どもの文化研究所［東京］978-4-503-21141-5　17/06

◆**茶道の研究**　No.739　三徳庵編　A5　84頁　540円　三徳庵［東京］978-4-503-21143-9　17/06

◆**調査情報**　No.537　岩城　浩幸編　255mm×160mm判　102頁　789円　TBSテレビ［東京］978-4-906908-98-1　17/07

◆**東京かわら版**　No.526　佐藤　友美編　204mm×108mm判　162頁　500円　東京かわら版［東京］978-4-503-21162-0　17/06

◆**俳句四季**　No.479　西井　洋子編　松尾　正光編　B5　160頁　930円　東京四季出版［東京］978-4-503-21156-9　17/06

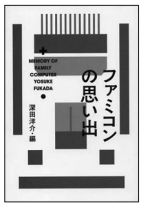
◆**みんなの図書館**　No.483　図書館問題研究会編　A5　96頁

売行良好書

期間：2017年6月15日～7月14日

［出荷センター扱い］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『物語の森へ』3888円・東京子ども図書館　(2)『ファミコンの思い出』1404円・ナナロク社　(3)『集団就職』2160円・弦書房　(4)『毒毒植物図鑑』1944円・南方新社　(5)『東京の森のカフェ』1404円・書肆侃侃房　(6)『人間はなぜ歌うのか？』3132円・アルク出版企画　(7)『あひる』1404円・書肆侃侃房　(8)『カウボーイ・サマー』1944円・旅と思索社　(9)『闇を照らす』1728円・長崎新聞社　(10)『井の頭公園いきもの図鑑』1728円・ぶんしん出版　(11)『北海道でがんとともに生きる』2160円・寿郎社　(12)『アフガン・緑の大地計画』2484円・石風社　(13)『忘れられた人類学者（ジャパノロジスト）』2160円・忘羊社　(14)『トンボのすべて　新装改訂版』3024円・トンボ出版



［三省堂書店神保町本店　センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『ベスト１０本の雑誌』1620円・本の雑誌社　(2)『ニホンという滅び行く国に生まれた若い君たちへ』1620円・白馬社　(3)『昭和プロレスマガジン４２』1000円・昭和プロレス研究室　(4)『本の雑誌　４１０号』840円・本の雑誌社　(5)『東京かわら版　６月号』500円・東京かわら版　(6)『奇跡のシェフ』1512円・上毛新聞社　(7)『新・ニッポン分断時代』1620円・本の雑誌社　(8)『パターン認識と機械学習の学習普及版』600円・暗黒通信団　(9)『超激辛数独１』864円・ニコリ　(10)『東京の森のカフェ』1404円・書肆侃侃房

［ジュンク堂書店池袋店　地方出版社の本―センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『東京の森のカフェ』1404円・書肆侃侃房　(2)『石川信雄著作集』3024円・青磁社　(3)『井の頭公園いきもの図鑑』1728円・ぶんしん出版　(4)『カメの家庭医学百科』5400円・アートヴィレッジ　(5)『埼玉　鎮守の杜めぐり』200円・埼玉新聞社　(6)『木村草太の憲法の新手』1296円・沖縄タイムス社　(7)『集団就職』2160円・弦書房　(8)『つまみ細工』2160円・かりん舎　(9)『忘れられた人類学者（ジャパノロジスト）』2160円・忘羊社　(10)『奥武蔵登山詳細図』950円・吉備人出版

以下ホームページ等でも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。
ＵＲＬ：http://neil.chips.jp/chihosho/　　ツイッター公式アカウント：@local_small

トピックス ―― ★★★

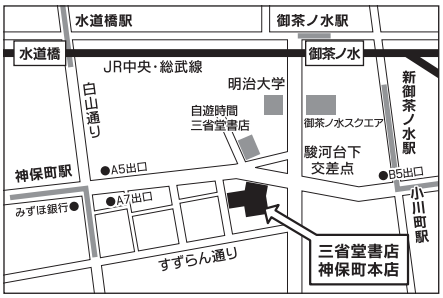
▼先月号でお知らせしました通り、8/5（土）～8/7（月）、クレヨンハウス主催「夏の学校2017」２日目で、**【アフガン・緑の大地計画】**（石風社刊、本体2300円）を上梓した**中村哲氏**が**「アフガニスタンに蘇る水と、緑の大地」**のタイトルで講義を行う予定です。また、同日の分科会では「もっと知るアフガンでの暮らし」という題でお話しされる予定です。詳細は「クレヨンハウス夏の学校」でネット検索を。

▼ジュンク堂書店池袋店20周年企画で**【本屋さんで婚活】**というユニークなイベントが。概要は以下の通り。「いつもの本屋さんで好きな本と、たいせつな人をみつけちゃおう！！」開催日時：2017年08月06日（日）／開催場所：ジュンク堂書店池袋本店９Fイベント会場／参加対象：本が好きな方、ジュンク堂書店池袋本店が大好きな方／参加費：無料。ただし当日までにプレゼント用として、お気に入りの１冊を当店でご購入頂きます。／内容：プロフィールシートと好きな本をだしあい、１対１で10分間お話して頂きます。気になるお相手がいたら連絡先やメッセージをそえて本をプレゼント。後日、返事がきたらおともだちからスタート。※あいにくと応募はすでに７／15で締め切られているそうです。

郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先（郵便番号、住所）、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までＦＡＸでご連絡ください。
◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊２１０円でお送り致します。（メール便の到着は、発送してから３～４日かかります。）お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合せ下さいませ。
◎なお書籍お買上総計（税抜き価格）が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター
ＦＡＸ：０３－３２３５－６１８２

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。

三省堂書店 BOOKS SANSEIDO
営業のごあんない
神保町本店 ４階
地方出版・小出版物フロア
営業時間 10：00 AM～8：00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. http://www.books-sanseido.co.jp
本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。